安楽寺八幡

中仙町豊川坂ノ上

東長野には、戸沢出雲守右京祐開基と伝えられる。八華山安楽寺という寺があった。これについては菅江真澄は、「安楽寺の八幡宮祭日八月十五日、此の神社はいにしえ安楽寺という寺の鎮守の御神なりしよし、其寺は小山田という村に今は遷したるといへり」と記している。伝説にも伝わり今も八幡宮は二間四面社としてまつられている。